

令和4年度

令和4年12月20日



遷喬小だより

12月号③

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**

学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

学校評価 皆様の声を学校経営に生かしていきます

学校評価（保護者アンケート）にご協力をいただき、ありがとうございました。今年度の回答数は130件（回答率46%、昨年度70%）でした。アンケート回答を紙ではなくICT活用に変更したこと、その周知が十分でなかったことの影響が出たのかなと感じていますが、今後、ますますICT化が進んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

今回の結果についてですが、回答率が違うため昨年度と比較するのは難しいのですが、昨年度とも比較しながらお知らせいたします。

今年度の学校教育に対する肯定的評価（A+B）は、15項目中5項目が90%以上、7項目が85～90%未満、3項目が80～85%未満でした。肯定的評価平均値は87.6%となっており、概ね良好ですが、昨年比-4.0%と若干数値が下がっており、課題も感じているところです。

肯定的評価が90%以上は、次の項目でした。

- ・学校は、PTA総会・学校便り等で、学校目標・教育方針等を分かりやすく伝えている。
- ・学校は、参観日や学校行事を通して、保護者や地域の方が参観する機会を設け、学校開放を進めている。
- ・学校は、便りやHP等を通して情報を発信するとともに、行事等の感想等を収集するなど、情報受信に努めている。
- ・学校は、宿題の直しの徹底や補充学習などにより、児童の学習課題改善に努めている。
- ・学校は、はきものやハチネボをそろえるための取組を行っている。

85%に満たなかった3項目は、次の項目でした。

- ・学校は、体力づくりに積極的に取り組んでいる。83%（昨年比+3%）
- ・学校の職員は、子どもの話を聴いたり相談にのったりしている。81%（昨年比-8%）
- ・学校の職員は、子どもの良さを認めたり、褒めたりしている。82%（昨年比-9%）

「子どもの話を聴いたり相談に乗ったりすること」、「子どもの良さを認めたり、褒めたりすること」は、最も大切なことであり、学校としても重点を置いてきているところですが、まだまだ課題があると感じています。教職員全体でこのことを共有するとともに、今後とも、担任だけでなく複数の教員で相談に乗ることも行ってまいります。

家庭教育についての肯定的評価(A+B)は、15項目中8項目が90%以上、3項目が85~90%未満、2項目が80~85%未満、2項目が80%未満でした。肯定的評価の平均値は88.7%(昨年比+0.1%)でした。

昨年よりも3%以上伸びた項目は、次の5項目でした。

- ・遷喬小学校の学校教育目標を知っている。87%(昨年比+6%)
- ・授業参観や学級懇談に、出席するようにしている。100%(昨年比+4%)
- ・子どもの友達関係について気を配っている。91%(昨年比+3%)
- ・朝ごはんは、必ず食べさせている。99%(昨年比+3%)
- ・メディアコントロール期間中は、メディアの時間を減らし、学習や読書の時間が増やせるよう、家族で協力して取り組んでいる。81%(昨年比+4%)

課題として考えられるのは、睡眠とメディアコントロールのルールに関することです。

- ・就寝時刻について、遅くならないよう守らせている。78%(昨年比-4%)
- ・スマホ・テレビ・ネット・ゲームについて、ルールを決め、「9時以降は使わない」「1日1時間まで」などのルールを子どもに守らせている。56%(昨年比-4%)

課題はありますが、今年度新たなカードに変更したメディアコントロール期間中は、意識が高まっているように思います。身近な生活にスマホ・タブレット等は欠かせない道具となっている今の時代だからこそ、平素から健康面や利用のルール、情報モラルについて常に意識しながら生活していきましょう。

その他、学校評価ではご意見やご感想もたくさんいただいています。詳細については3学期に改めてお伝えするとともに、より良い学校づくりに向けて参考にしていまいります。

なお、アンケート項目の表現について、ご意見をいただいていますので、来年度は修正してまいります。

(~させている→~するようにしている)